## ◆◇◆呼び方◆◇◆

●子どもの世界。

男子が女子を、女子が男子を呼ぶときに何と呼んでいるか。 私が子どもの時代、「あだ名」を別にすると私のまわりでは男子→女子「苗字」に「さん」 付け。逆は「くん」付けが多かったと記憶しています。 ところが。今、下の名で呼び捨て、という場合を耳にすることがあります。 子どもなりに親しみを込めての呼び方かも知れません。が、ドキッとします。

## ●大人の世界。

人の前で配偶者を何と呼ぶか。意外と悩ましい問題です。 このことに関する記事が目に留まりましたので紹介します。



- ▼妻,夫,嫁,主人,パートナー…。ここ数年,自分や他人の配偶者をどう呼ぶか, 迷う人が増えている。女性の社会進出やジェンダー意識の高まりが背景にあるようだが, 実際の呼び方に変化はあるのだろうか。
- ▼総務省の統計によると、1992年に共働き世帯数が専業主婦世帯数を逆転。 2020年には専業主婦世帯の2倍以上に上るなど、社会の実態は言葉本来の意味とは かけ離れている。そのためか、テレビドラマなどで「パートナー」「妻・夫さん」など、 夫妻が対等な呼称を耳にする機会も出てきた。
- ▼読者アンケートの結果を見ると、配偶者について 男性は「嫁・嫁さん」、女性は「主人」「旦那」が 上位を占めていた。

ただし年代別では変化の兆しも見られ若い世代ほど対等な呼称が広がっている傾向があった。

▼回答者の中には、「主人や旦那と呼ぶのは 夫に仕えているようで違和感」など、 旧来の呼称を疑問視する声がある一方、 「実際に虐げられている訳ではないので目くじらを

・親しい人の前で、配偶者を何と (全年代、複数回答、%) 呼ぶか 【男性】 【女性】 23.0 23.4 嫁 主人 ② 奥さん 15.7 2 旦那 22.9 ③ お父さん 17.6 名前の (3) 12.3 呼び捨て 1818 名前の 家内 10.911.0 敬称付き 10.6 (5) 妻 7.3 夫

周囲には「嫁」と呼ぶ人が多かったが、親が息子の結婚相手を呼ぶ際に使う印象があり、 結婚した当事者間で使うことに違和感があった。かといって「妻」は堅く,「奥さん」は よそよそしい。そこで考えたのが配偶者を「向こう」自分を「こっち」と呼ぶ方法だった。

## ●うーん、難しい。

つまるところ,周りがどうとらえようと、お互いが不快に思わない呼び名を使うほかはないと思うのですが…。